

地域公共交通のリ・デザインと社会的課題解決を一体的に推進するため、**交通DX・交通GX**により**交通分野**における省力化・利便性向上を通じた経営力強化を支援します！

補助対象事業者

旅客自動車運送事業者

補助対象経費

機器・システムの導入にかかる初期費用
（機器購入費、システム開発費、設置工事費等）

交通DX

新たな決済手段の普及・拡大

補助率 1 / 3

補助対象

クレジットカードタッチ決済、二次元コード決済、
交通系ICカード決済にかかる機器等の導入・更新

※新規導入・機能向上を伴う更新・単純更新の類型ごとに優先順位を付けて補助を行うこととしています。



デジタル技術活用等による省力化等の推進

補助率 1 / 2

補助対象

・乗務日報自動作成システムの導入 ・運行管理支援システムの導入
・配車アプリの導入 ・スマートバス停の導入



交通GX

補助率 1 / 2

補助対象

・EVの充電にかかる電力の使用を最適化するエネルギーマネジメントシステムの導入

高齢者、障害者をはじめ誰にとっても暮らしやすいまちづくり、社会づくりを進めるため、公共交通のバリアフリー化を一体的に支援。

- ・補助対象事業者：旅客自動車運送事業者
- ・補助率：1／4、1／3等

○ノンステップバス・リフト付きバスの導入



ノンステップバス
※上限額は140万円



リフト付きバス

○UDタクシー・福祉タクシーの導入



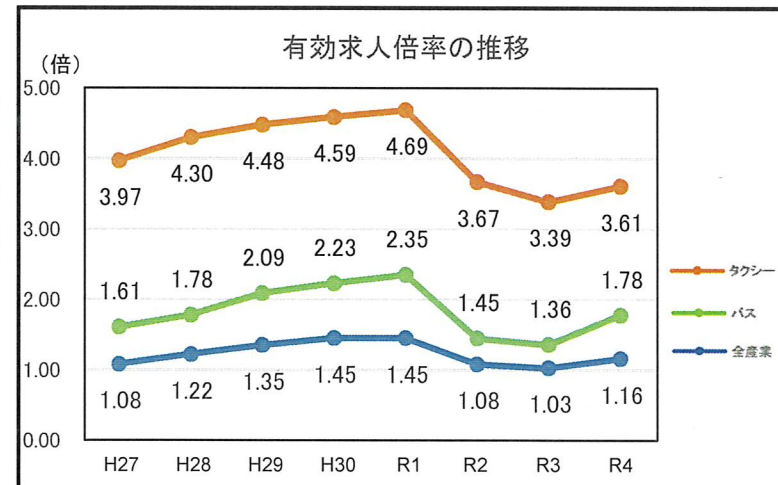
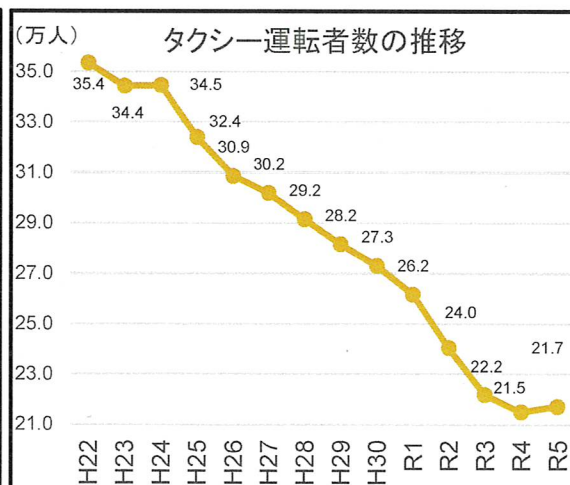
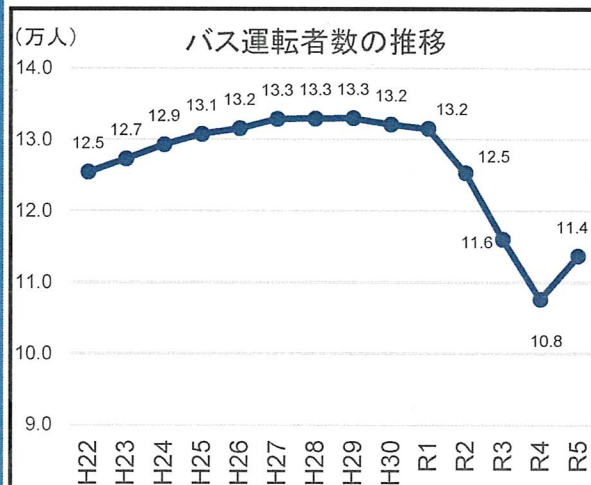
福祉タクシー
※上限額は最大80万円



UDタクシー
※上限額は最大60万円

背景

地域の日常生活・社会経済活動の基盤となるバス・タクシー事業において、担い手の確保が喫緊の課題となっている。



✓ 足もとでは、「交通空白」の解消に向けて、地域ごとに今後の地域公共交通のあり方を検討している最中であり、人手不足によりバス・タクシー事業者が事業の縮小をすれば、地域の公共交通の維持が困難となるおそれ。

バス・タクシー事業者に対し、人手不足による事業の縮小・廃止を抑制するための支援を強力に実施

主な支援内容

<補助対象経費>

- ・人材確保セミナーの開催経費※1、※2
- ・二種免許取得等に関する経費※2
- ・女性用控え室等の整備経費 等

※1 日本版／公共ライドシェアに係る経費も含む

※2 特定技能外国人の採用に係るものも含む

<補助対象事業者>

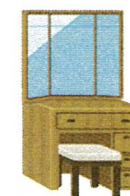
バス事業者、タクシー事業者等

<補助率>

最大 1 / 2



<2種免許取得>



<女性用控え室>



<人材確保セミナー>